

琉球大学×宜野湾市

学生が デザインする まちづくり

琉球大学公開授業(共通教育科目・キャリア関係科目) ニュースレター -第1号-

宜野湾市 -vol.1- お題解決プログラム

① 10/6(火) オリエンテーション・取り組みテーマの解説

この科目は宜野湾市が取り組んでいる地域課題を調査し、実際に課題解決に向けてグループで活動することでこれからの社会に求められる社会人基礎力を培い、キャリア観の醸成を図ることを目的とします。

当科目は琉球大学と宜野湾市が連携して行う授業で、市職員の講話や、フィールドワークなどを通して、学生たちが地域課題を発見し、解決策を主体的に考える実践的な授業となっています。

第一回の今回は、オリエンテーションとして、授業計画、昨年度の授業の様子、遠隔授業の受け方の説明を行った後、受講生の自己紹介を行いました。
この授業には、大学生10名、社会人6名、高校生3名、計19名が参加しています。

参加した学生からは「市役所を目指しているので、この授業を通してまちづくりを考えたい」などのコメントがありました。

当科目には宜野湾市も全面的に協力し、市職員による講演や普天間のフィールドワークを行います。この授業の中から、学生たちが主体的に取り組むプロジェクトが提案されることを期待しています。

内容

- 01 シラバス・授業計画の解説
- 02 昨年度の授業について
- 03 遠隔授業の受け方
- 04 受講生の自己紹介



琉球大学×宜野湾市

学生が デザインする まちづくり

琉球大学公開授業(共通教育科目・キャリア関係科目) ニュースレター -第2号-

宜野湾市 -vol. 2- お題解決プログラム

② 10/13(火) 市職員による講演(宜野湾市の観光振興について)

第二回の授業は、宜野湾市観光農水課長の本永氏をお招きし「宜野湾市の観光振興について」の講演が行われました。講演では、宜野湾市の「暮らし」「しごと」「まちづくり」「観光」についてお話がありました。

「観光」の講演では、地域経済分析システム(RESAS:リーサス)によるデータを活用し、宜野湾市に訪れる観光客の居住別割合や観光地検索ランキング、県内外国人の動きなどが紹介されました。

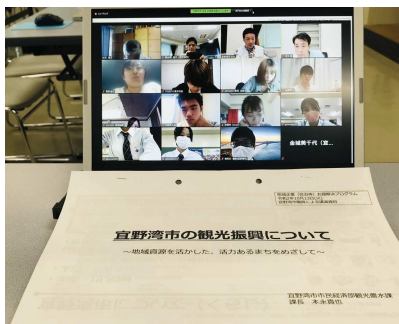
続いて、受講生が考える市の地域資源について意見を出しあいました。

受講生からは「冬でも暖かいので、冬の観光も楽しめる」「学生が多くいるというのが強み」「海が近くにある」「海にテイクアウトして食べることができるスポット」「学生が行きたくなるようなスポット」「基地があるので、異国文化の雰囲気が残るまち」「古着屋さんとかカフェとか、可愛いのもっとPRできないか」「保育園や公園が多く、ファミリー層が住みやすいまち」「米軍住宅を改装したカフェ」などの意見がありました。

若い学生の視点から、市の地域資源について、新鮮なアイデアが発表されました。

内容

- 01 宜野湾市の観光振興について
市観光農水課長 本永貴也氏
- 02 グループディスカッション
宜野湾市の観光資源について
- 03 各グループから発表(まとめ)



琉球大学×宜野湾市

学生が デザインする まちづくり

琉球大学公開授業(共通教育科目・キャリア関係科目) ニュースレター -第3号-

宜野湾市 -vol.3- お題解決プログラム

② 10/20(火) 市職員による講演(市の産業振興・市の歴史と文化)

第三回の授業は、市産業政策課の安次富氏による「市の産業振興について」と市立博物館の平敷氏による「市の歴史・文化について」の講演が行われました。

「市の産業振興について」では、初めに、市内事業所の統計情報や課題等についてお話がありました。「市産業振興計画」に基づく、市の取り組みとして、空き店舗対策、特産品等販路拡大支援、商店街活動支援、コロナウイルス感染症対策事業等の説明を行い、市にある通り会と商店街の紹介がありました。

「市の歴史・文化について」では、講師の平敷氏より、「地域は宝箱のようなもの。歩いて、聞いて、発見し、原石(課題)を掘り出すアンテナを張る力を養いましょう」との話がありました。そして、市の歴史概略、普天間の歴史等について説明がありました。普天間地区における当時の写真を多く用いて、戦前から戦後の街並み、まちが発展していく様子などの紹介がありました。

受講生からは「中小企業が多く占めている」「商店街や通り会が普天間地区にしかない(集中している)」「情報発信はHP・Facebookだけでなく、InstagramやTwitterも使用してほしい」

「宜野湾の歴史を知らなかったの、フィールドワークでさらに学びたい」などの意見がありました。

内容

- 01 市の産業振興について
産業政策課 安次富弘明氏
- 02 市の歴史と文化について
市立博物館 平敷兼哉氏
- 03 グループディスカッション
各グループから発表(まとめ)



琉球大学×宜野湾市

学生が デザインする まちづくり



宜野湾市HP

琉球大学公開授業(共通教育科目・キャリア関係科目) ニュースレター -第4号-

宜野湾市 -vol.4- お題解決プログラム

④ 10/27 (火) フィールドワークの事前準備

第四回の授業は、次回フィールドワークの事前準備を行いました。

市民協働推進課職員よりフィールドワークの行程表の説明が行われ、琉球大学の畑中寛先生よりフィールドワークにおける注意事項について説明が行われました。

その後、グループ編成を行い、1グループ5名の3グループに分かれ、グループでディスカッションを行いました。

最初に、自己紹介を行い、リーダー・サブリーダーを決め、フィールドワークの際に、学びたいこと、関心のある事などについて話し合いました。

最後に、グループディスカッションの内容を全体で共有しました。

受講生からは「地域の社会的な課題を見つけたい」「今と昔の普天間を比較したい」「何があれば住みやすい街になるか考えながら、まち歩きをしたい」「おしゃれなお店が増えているヒルズ通り会を見て地域活性化の可能性を探りたい」「シャッター通りなどの課題を知りたい」「カフェの取り組みに興味があるので当日質問してみたい」などの発表がありました。

次回10月31日(土)は、フィールドワークです。

内容

- 01 フィールドワークの行程
市民協働推進課職員
- 02 フィールドワークにおける
注意事項・協力依頼について
琉球大学 畑中寛先生
- 03 グループディスカッション
各グループから発表(まとめ)



琉球大学×宜野湾市

学生が デザインする まちづくり



宜野湾市HP

琉球大学公開授業(共通教育科目・キャリア関係科目) ニュースレター -第5号-

宜野湾市 -vol.5- お題解決プログラム

- ⑤ 10/31 (土) フィールドワーク (地域における実践活動) 【午前】
- ⑥ 10/31 (土) フィールドワーク (地域における実践活動) 【午後】

第5、6回の授業は、フィールドワークでした。市立博物館の平敷館長の案内で普天間地域のまち歩きを行いました。

今回のフィールドワークは、実際に普天間地区を歩いて回り、昔の普天間と現在のまちなみを比較しながら、まちの課題や可能性を見つけることが目的です。

まず、ヒルズ通りを通過して国指定文化財の喜友名泉(ちゅんなーがー)に向かいました。2015年に「でいご通り」から「ヒルズ通り」に名称が変更された経緯などを聞いた後、様々なカフェや雑貨屋さんなどが立地する、おしゃれな街並みを眺めながら喜友名泉に向かいました。



内容

- 01 フィールドワーク
普天間まちあるき
- 02 フィールドワークの振り返り
各グループから発表(まとめ)



本授業には、**高大連携の一環として3名の宜野湾高校生が参加しています。**当日はRBCより取材を受けました。

フィールドワーク

その後、カフェユニゾンで昼食をとりながら、オーナーの三枝克之さんから話を伺いました。カフェユニゾンのコンセプトや、県の子ども未来協力店として行っている弁当配達の活動、地域との関わり、まちづくりなど（地域の中へ店のほうから出向いていくキッチンカー、沖縄の市場文化の見直し、台湾の夜市の沖縄版）様々なお話を伺いました。



その後、普天間地区を歩きました。昔の地図や写真などの資料を基に、現在の街並みと比較しながら歩きました。

すずらん通り、万年通り、局前通り、公設市場通り、宜野湾市役所跡（サンフティーマ）などを通して、山田真山伯の平和記念像原型アトリエ（摩文仁にある平和記念像の原型が保管されている）を見学しました。

最後に、近年は観光名所にもなっている普天満宮に戻り、琉球石灰岩層に形成され全長280mの洞穴を見学しました。

フィールドワークでは、かつて栄えた普天間と現在の街並みから、活性化のヒントを探ります。



フィールドワークを終えて、グループで、感想や地域活性化のためのアイデアを頂きました。

受講生からは「普天間地区は歩ける面積なので歩くイベントを開催する。」「当時、普天間が栄えていたころの写真パネルを展示して普天間のことを知ってもらおう。」「普天間朝市や夜市などを定期的に行う。」「フィールドワークで歩いて昔の面影を感じた。」「外見は古くても中がおしゃれなお店も多かった。」「飲食店が多く、宜野湾市の特産品スイーツを出したらいい。」「宜野湾市には、住宅が多い。ヒルズ通りは歩いている人が少なかった。まずは、地元の人たちに良さを知ってもらおう。YouTubeなどを活用して情報発信する。」などの意見が出ました。

琉球大学×宜野湾市

学生が デザインする まちづくり



宜野湾市HP

琉球大学公開授業(共通教育科目・キャリア関係科目) ニュースレター -第7号-

宜野湾市 -vol.7- お題解決プログラム

⑧ 11/17 (火) 地域課題の抽出

11月17日の授業では、畑中先生より、アイデア発想法のKJ法(カードを使用したフレンストーミング)について、講義を受け、その後、宜野湾市・普天間のまちづくりの問題点・課題について、優先順位付けを行い、テーマ別に整理し全体で共有しました。

受講生からは、

○交通、若者の地域参画、多様な主体との連携、情報発信、地域活性化策などに整理した。

○課題を大まかに分類した。課題解決に向けて実現性の高い、課題について取り組みたい。

○学生向けのお店が少なく、若者のまちの感じが出ていない。

○名物や名所の発信、アピールが出来ていない。

○歩いて長時間過ごせる場がない。などの発表がありました。

課題解決策の提案については「フィージビリティ」学生の視点から実現性の高い提案に取り組むことが重要というお話がありました。誰に向けての提案で、誰が実現するのかという視点も持ちながら今後企画案を検討していきます。

次回は、取り組む課題を決め、課題解決策を考えます。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<https://www.city.ginowan.lg.jp/soshiki/kikaku/3/1/2/3/7107.html>

内容

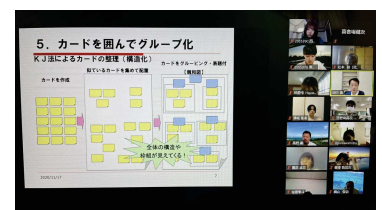
01 宜野湾市・普天間のまちづくりの問題点・課題について、優先順位を付ける。

02 グループディスカッション
各グループから発表(まとめ)

本日のグループワーク

- 1 宜野湾市・普天間のまちづくりの問題点・課題について、優先順位付け(重要度)。【15分】
- 2 ホワイトボードにテーマ別に整理し、記載(課題の共有)。【15分】
【発表】ホワイトボードデータ(PDF)を画面共有
- 3 課題解決に向けたアイデアについて、カード式フレンストーミング(メモ紙に記載)。【15分】
- 4 グループでホワイトボードにアイデアを整理し、ディスカッション。【15分】
- 5 提案するアイデアを一本化する。【15分】

2020/11/17 2



琉球大学×宜野湾市

学生が デザインする まちづくり



宜野湾市HP

琉球大学公開授業(共通教育科目・キャリア関係科目) ニュースレター -第8号-

宜野湾市 -vol.8- お題解決プログラム

⑨ 11/24 (火) 課題解決に向けた方向性の検討①

11月24日の授業では、畑中先生より、ファシリテーション・グラフィックについての講義を受けました。
話し合いを行うとき「何について、どのように話しているのか」参加者の認識を一致させるために、発言は記録図示化して、議論を可視化する重要性のお話がありました。

次に、課題の解決に向けての注意点の説明がありました。
「早く問題を解決したいと、すぐに解決策に飛び付きがちになるので、問題を解決する事だけにとらわれ、いきなり解決策を考えないようにする必要があります。」

そして「問題を解決するには、問題の基となる原因を分析することが重要であり、問題はなぜ起こるのか、多角的に原因を分析し、さらにその原因(本質的原因)を深掘することが重要である」というお話がありました。

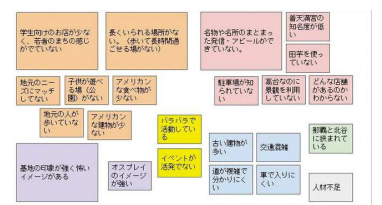
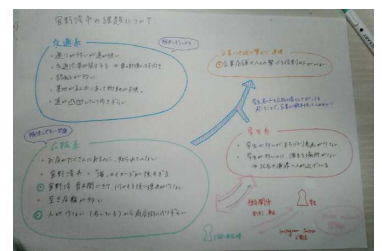
その後、受講生は各グループで課題を図示化し、グループワークの内容を共有しました。

学生からは
○「情報発信」と「若者の地域参画」「多様な主体との連携」は繋がっているのではない。
○異なる世代と交流する機会がないので、その交流の機会を考えたい。
などのアイデアが出されました。

今回は、取り組む課題に対する、解決策を一本化します。

内容

- 01 宜野湾市・普天間のまちづくりの問題点・課題について、図示化する。
- 02 グループディスカッション
各グループから発表(まとめ)



琉球大学×宜野湾市

学生が デザインする まちづくり



宜野湾市HP

琉球大学公開授業(共通教育科目・キャリア関係科目)

宜野湾市 -vol.9- お題解決プログラム

⑨ 12/1 (火) 課題解決に向けた方向性の検討②

12月1日の授業では、引き続き課題解決に向けて方向性を検討しました。畑中先生より、問題の解決をすることだけにとらわれず、問題のもととなる原因を分析することが重要との話がありました。

グループワークの手法として、Zoomのホワイトボード機能や、Googleスライドの共有機能、オンラインホワイトボードMiro (ミロ) の活用について説明がありました。今後は、授業以外においても、Zoomや、Slack (チャットツール) などを使い、各グループで意見交換を行うように説明がありました。

各グループからは

「課題について多くの意見が出たが、その課題を言語化することに悩んでいる」

「課題の設定は本当にこれでよいのか？問題はなぜ起こっているのか、多角的に原因を分析して、さらに原因を深掘する必要があるのではないか？」

「解決策やアイデアについての意見は出ているが、その解決策を実現することで本当に課題は解決されるのか？」

「次回の中間発表までには課題と解決策の提示までできるように頑張りたい」

などの発表がありました。

次回は、各グループからの中間発表が行われます。

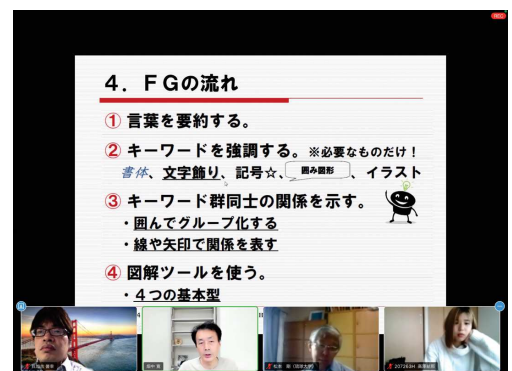
詳しくは、こちらをご覧ください。

<https://www.city.ginowan.lg.jp/soshiki/kikaku/3/1/2/3/7107.html>

内容

01 課題解決に向けて方向性を検討

02 グループディスカッション
各グループから発表 (まとめ)



琉球大学×宜野湾市

学生が デザインする まちづくり



宜野湾市HP

琉球大学公開授業(共通教育科目・キャリア関係科目)

宜野湾市 -vol.10- お題解決プログラム

⑩ 12/8(火) 中間発表

12月8日の授業では、各グループより下記内容で中間発表が行われました。

1グループからは、
学生が普天間の魅力についてSNS等で「情報発信」を一過性ではなく継続的に行うようにするための施策を提案したい。
学生が普天間の魅力について継続的に情報を発信することにより、学生が地域と「繋がり」、普天間に「学生・若い人」たちが集まるようになり、明るく魅力的な街になるのではないかと考えている。

2グループからは、
普天間の課題として、「学生向けのお店が少ない」「歩いて長時間過ごせない」「発信が上手くできていない」「基地の印象が強い」などがあげられました。課題解決に向けて、「スイーツショップ回遊マップの作成」「フリーペーパーによる情報発信」「交流イベントの開催」などの提案があげられたが、今後絞って検討していきたい。

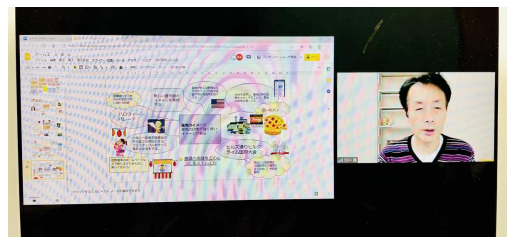
3グループからは、
宜野湾市の良さは、いろいろなお店が混在している、豊かな自然が残っている、インターナショナルなまちである、門前町として栄えていた地域であるなどがあげられた。コミュニティバスやSNSの活用などを提案したいと考えている。

今回は、中間発表の振り返り、解決に向けた方向性等の再検討を行います。

内容

01 各グループより中間発表

02 質疑応答



宜野湾市の良さ

1、いろいろな店が混在している

おしゃれなカフェ、昔ながらのお店、異文化なお店…

2、豊かな自然がある

トロピカルビーチ、タイモ畑、吾友名泉、森川公園…

3、インターナショナルなまちである

外国籍登録数がなんと47国

4、門前町として栄えてた地域

琉球大学×宜野湾市

学生が デザインする まちづくり



宜野湾市HP

琉球大学公開授業(共通教育科目・キャリア関係科目)

宜野湾市 -vol.11- お題解決プログラム

⑫ 12/15 (火) 中間発表の振り返り、解決に向けた方向性等の再検討

12月15日の授業では、畑中先生より、SWOT分析の手法について講義がありました。

SWOT分析は、強み、弱み、機会、脅威を体系的に評価するための分析枠組みです。

各グループは、宜野湾市の強み、弱み、そして外部からの機会、脅威について、ブレインストーミングを行いました。

1グループからは、チームメンバーで、企画のアイデア出しを行いました。なんとなく、企画案は出てきましたが、細かい部分は、議論が必要なので、今後チームで、話し合いながら企画を詰めていきたい。

2グループからは、まず普天間の課題について分類しました。そして特に優先的に取り組む課題についてグループメンバーで話し合いました。引き続き、取り組むテーマを絞っていきたい。

3グループからは、SWOT分析を行い、宜野湾市の強みや弱みを話し合いました。今後、何をするのかを話し合っていきたい。

次回は、中間発表の振り返り、解決に向けた方向性等の再検討を行います。

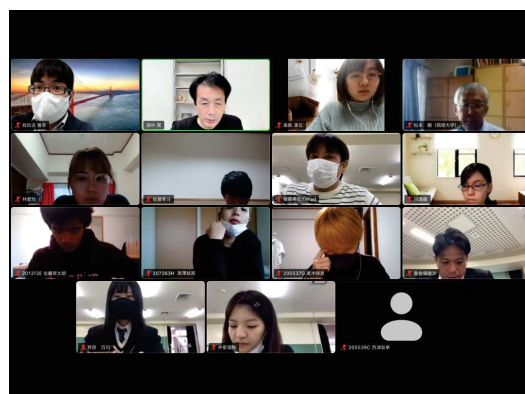
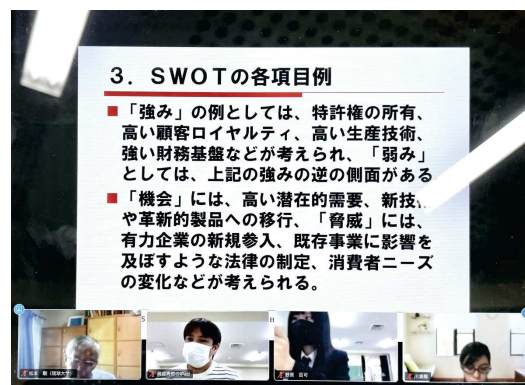
詳しくは、こちらをご覧ください。

<https://www.city.ginowan.lg.jp/soshiki/kikaku/3/1/2/3/7107.html>

内容

01 中間発表の振り返り

02 グループで企画の再検討



琉球大学×宜野湾市

学生が デザインする まちづくり



宜野湾市HP

琉球大学公開授業(共通教育科目・キャリア関係科目)

宜野湾市 -vol.12- お題解決プログラム

⑬1/12(火) 各課題の掘り下げ、問題点の整理

11月12日の授業では、畑中先生より、最終発表会のスケジュールおよび、プレゼン資料の基本構成などについて講義がありました。発表の基本構成は、序論(30%)、本論(50%)、結論(20%)の配分で行い、本授業の特色として「地域課題決定までのプロセスについて」重点的に発表するよう説明がありました。

その後、各グループは、最終発表に向けて、①発表方法の決定と作成、②発表内容(重要性、ストーリー)の検討、③発表者の決定(役割分担)、④模擬発表(発表時間15分)について話し合いました。

1グループからは、チームメンバーで、企画の細かい部分について話し合いを行いました。次回の授業までに発表できるまでは進めることができなかったので、授業以外の時間にチームで集まり、最終案を詰めていきたい。

2グループからは、最終発表にむけて、取り組む内容を考えていきました。インスタグラムを活用して、若い世代にまちの魅力を発信する取り組みを考えています。今後、授業以外でも集まりを持ち、まとめていきたい。

3グループからは、スムーズに話し合いは進みましたが、リハーサルまでに詰める必要があります。 Slackやオンライン会議などを活用して意見交換を行いたい。

次回は、最終発表のリハーサルを行います。

詳しくは、こちらをご覧ください。

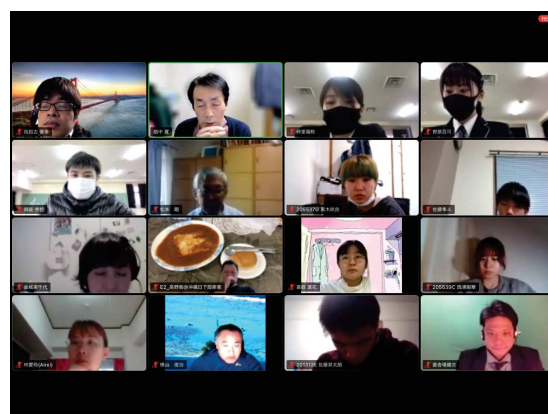
<https://www.city.ginowan.lg.jp/soshiki/kikaku/3/1/2/3/7107.html>

内容

01 各課題の掘り下げ、問題点の整理

02 グループで企画の再検討

期日	期	内容	期日	期	内容
10月8日	(火)	1 オリエンテーション、テーマ解説	11月24日	(火)	9 課題解決に向けた方向性等の検討①
10月13日	(火)	2 宜野湾市講演(観光産業)	12月1日	(火)	10 課題解決に向けた方向性等の検討②
10月20日	(火)	3 宜野湾市講演(産業政策、歴史)	12月8日	(火)	11 中間発表
10月27日	(火)	4 フィールドワークの事前準備	12月15日	(火)	12 中間発表の振り返り、課題解決に向けた方向性等の再検討
10月31日	(土)	5 宜野湾市フィールドワーク①	1月13日	(火)	13 各課題の掘り下げ、問題点の整理
10月31日	(土)	6 宜野湾市フィールドワーク②	1月19日	(火)	14 最終発表会リハーサル
11月16日	(火)	7 収集した情報の整理	1月25日	(火)	15 最終発表会
11月17日	(火)	8 地域課題の抽出			



琉球大学×宜野湾市

学生が デザインする まちづくり



宜野湾市HP

琉球大学公開授業(共通教育科目・キャリア関係科目)

宜野湾市 -vol.13- お題解決プログラム

⑭1/19(火) 最終発表リハーサル

1月19日の授業では、各グループで、次回の最終発表会に向けて最終調整が行われました。

そして、最後に各グループから現状の報告がありました。

1グループからは、「普天間の歴史、観光、商工を組み合わせたスタンプラリー」を提案することになりました。チームメンバーで、企画について、どのセクションを誰が話すかなどを決定し、一度発表の練習を行いました。次回までに、スライドの細かい部分を完成させたいとの発表がありました。

2グループからは、最終発表にむけて、スライドの作成を行いました。「Instagramを活用して、若い世代にまちの魅力を発信する」取り組みを考えています。事業時間以外でもオンラインで集まり企画をまとめたいとの発表がありました。

3グループからは、「学生が自由に起業するまちづくり拠点」を提案します。企画の内容や発表方法など、最終発表に向けて授業以外でも集まり企画をまとめたいとの発表がありました。

今回は、いよいよ最終発表会です。
ズームを用いたリモート発表会になります。

内容

01 最終発表リハーサル



課題の絞り込み ⇒ 私達ができること

- ・高校生、大学生を対象に、普天間の魅力を発信し若者にアピールしたい。
- ・知られていない部分をSNSで手軽に若者に届かないか？
- ・若い世代が利用するInstagramを活用できないか？



琉球大学×宜野湾市

学生が デザインする まちづくり



宜野湾市HP

琉球大学公開授業(共通教育科目・キャリア関係科目)

宜野湾市 -vol.14- お題解決プログラム

⑭1/26(火) 最終発表

1月26日に、宜野湾市と琉球大学が連携し、地域課題の解決を目指す公開授業「学生がデザインするまちづくり」の最終発表会が、オンラインで行われました。

この授業は高大連携事業として、宜野湾高校の生徒3名も参加し、大学生、社会人合わせて16名が参加しました。

受講生は昨年10月から1月まで、15回にわたり、市職員の講座やフィールドワークなどで地域の課題を検討し、課題解決への企画を考え提案しました。

1チームは「普天間の歴史、観光、商工を組み合わせたスタンプラリー」と題して、スタンプラリーを通して学生に普天間の魅力を知ってもらい、学生の視点で発信する取り組みを発表しました。

2チームは「Instagramを活用して、若い世代にまちの魅力を発信する」と題して、若者が活用するInstagram使い若い世代に普天間の魅力を発信する取り組みを発表しました。

3チームは「学生が地域で自由に起業する拠点づくり」と題して、空き店舗を活用し、地域の課題解決に取り組む学生起業家を支援する取り組みを発表しました。

発表会には、市職員らも来場し、多くの意見交換が行われました。

内容

- 01 学生がデザインするまちづくりの活動について
- 02 最終発表
チーム1・チーム2・チーム3
- 03 総括・講評

